

学校概要

創立 43 周年	学校長 館 雅之	副校長 直井 毅	学期 2 学期制	児童・生徒数 367 人
学級数 一般級: 12 個別支援級: 3		主な関係校: 高田中学校 高田小学校		

学校教育目標

「チャレンジ! なかよし! 進んで学ぶ 東の子」
 ○ 進んで学び続け、考えを深め、豊かにする子どもを育てます。(知)
 ○ 自分大好き、友達大好き、心豊かに生きる子どもを育てます。(徳)
 ○ 心も体も鍛え、自他の生命と体を大切にすることを育てます。(体)
 ○ 地域を愛し、人やものとの出会いも大切に、共に生きる子どもを育てます。(公)
 ○ 社会の多様な変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。(開)

学校の特徴

本校は、高台にあり、わずかに農地が残っている閑静な住宅地域に位置している。大きな特色として、校庭全面芝生があるが平成15年以来地域や保護者の協力を得ながら維持をしている。学校創立以来、地域・保護者ともに学校に対して協力的である。特に登下校の見守りは安全防犯上大きな役割を担っている。
 児童数350人程度の規模の学校であるため、一人ひとりの子どもの実態を家庭環境も含め、把握しやすい。そのため、「一人ひとりの子どもを徹底的に大切にする」という方針で指導を徹底している。さらに、教育の動向を見据え、感性、感謝、感化を柱とした三感教育を進めることで特色ある教育活動を推進している。

学校経営中期取組目標

「一人ひとりの子どもを徹底的に大切に、どの子どもにも居場所となる学校づくり」を目指します。
 そのため、「三感教育」(三つの「感」(感性、感謝、感化)を柱にした教育活動)を推進します。
 (1) 一人ひとりの子どもに寄り添った支援・指導をすることにより、自己肯定感を含めた感性を高めていきます。
 (2) 感化し合う土壌を支えとした基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。
 (3) 学級や学年を超えた集団の活動を充実することにより、自他を大切に、感謝の気持ちを持ち、共によりよく生きる力を育てていきます。
 (4) 保護者や地域との連携を図ることにより、地域や社会に関心をもち、高田のまちを愛し、大切にすることを育てます。

小中一貫教育の取組

a5	ブロック	高田中学校ブロック
9年間で育てる子ども像	主体的に学び、自ら課題を設定し、その課題を克服していける子ども	
自校の具体的取組	ブロックテーマ「豊かな表現力の育成を目指して～主体的な学びを生み出す基礎・基本の充実～」をふまえ、学習活動はもちろん諸活動を通して表現力の育成を重視する。特に、学習活動においては、各教科等で独自に育てる表現力を教科指導の際に意識して取り組むことにより、教科等を超えた汎用的な能力として育成できるようにする。一方で、表現力を核においた教科独自の内容についての習得も確実にできるように不断の教育課程の運営改善を充実する。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	自分の考えも他者の考えも大切にしたい上で、自分の思いを積極的に表現し、伝えようとすることを大切にしながら、教科等の本質をとらえた「感性」を育成する。	①特別支援教育の考え方を根拠にした指導を進めることにより、どの子どもも「わかる」「できる」授業づくりに努める。②研究テーマを「資質・能力育成ベースの授業づくり」と設定し、自ら学び、人から学び、明日のつながる学びをつくりあげる子どもの姿を目指す。
豊かな心	他者の存在に「感謝」する気持ちを育て、それを様々な方法で表現できる子どもの育成。その際、他者に積極的に働きかけ共によさを伝え合う「感化」を重視	①年間指導計画の中で地域の人・自然・まちにふれ合う学習、縦割り班活動、係や当番活動など学校生活全般において児童が人とのかかわる場面を多く設定する。②人とかかわり合いを通して、相手の存在を認識し、積極的に働きかけ、ともによりよく生きる子どもの姿を目指す。
健やかな体	本校の特色である芝生の校庭を活かし、そこで体を動かすことを楽しむことを通じて体力の向上を目指すとともに、心地よく感じるやわらかな「感性」を培う。	①芝生の生長や管理を知り、共に生きていく中で、芝生の校庭をより活用できるようにする。②一校一実践運動の「長縄跳び」を通して、学級集団として目標に向かって根気強く取り組んでいく子どもの姿を目指す。③けんこう会議などを通して、保護者と共通理解をもち児童の健康づくりを推進していく。
キャリア教育	夢や希望を抱き目標に向かい自分らしさを発揮しながら互いのよさを認め合い、高め合う目標の実現に向けて活動する子どもを育成する。	①様々な教育活動をキャリア教育の視点で整理し、本校のキャリア教育の考え方や進め方を構築する。②自己肯定感、コミュニケーション、地域とのつながりの視点をもち、各教科等の中で扱う単元の内容や題材そのものを社会や将来につなげる意識をもって指導に当たる。
児童生徒指導	一人ひとりの子どもを徹底的に大切にすることを基盤に豊かな人間関係づくりや社会の一員としての意識、規範意識を育成する。	①特別支援教育の考え方を包含した児童生徒指導を進める。②一人ひとりの子どもの実態把握の工夫、対応方針や組織的体制の整備を構築する。③児童指導上の指導実際の蓄積および管理、継続方法を構築する。
安全管理	学校防災計画に基づく諸災害、事故等の危機対応体制を確立するとともに、地域と連携した防災諸計画の整備を図る。	①危機対応諸マニュアルの再検討及び再構築を図る。②地域防災拠点であることをふまえ、農済拠点委員と連携し、保護者、子どもへの防災意識を高める。
人材育成・組織運営	校務分掌の明確化や機能化を図り、明確な運営、責任体制による学校運営を推進することで、教職員のキャリアアップに応じたキャリアアップを図る。	①28年度より運用する新組織の機能化と検証を行う。②自己観察書と連携し、各人の役割やその目標管理を明確にした人材育成方法を構築する。③主幹教諭を軸にした学校組織運営をさらに進める。